

退職者会報

平成29年
1月1日
第163号

一般社団法人 和歌山県職員退職者会
〒640-8585
和歌山市小松原通一丁目1番地(県庁本館4階)
電話・FAX (073) 428-2090
E-mail: w-taisyoku@iaa.itkeeper.ne.jp

謹賀新年



画題「初冠雪」 写真：海草支部 杉本雅嗣さん

新年のご挨拶



一般社団法人 和歌山県職員退職者会
会長 辻 健

新年あけましておめでとございます。會員並びにご家族の皆様方には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年5月の総会で尾崎武久前会長の後を受けましてから、早いもので7カ月が過ぎました。この間、退職者会の運営・活動等にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。お願ひ申し上げます。さて、皆様方もご承知のとおり、日本社会は世界に類を見ない速さで、少子高齢化が進んでおり、既に人口減少の時代へと突入しました。

こうした中、私たち年金生活者にとって最大の関心事であります年金改革法案が、昨年の国会で11月に衆議院を通過しました。法案の主な内容は、現在の賃金・物価スライドを見直し、現役世代の賃金水準に連動させ、賃金の下幅に合わせ、年金支給額を引き下げるといふものです。これが実施されれば、年金支給額の減額は行われても、年金支給額のアップはほとんど期待できなくなります。また、介護保険につきましても厚生労働省は、利用者が支払う自己負担額を引き上げようとしています。断固阻止しなければなりません。

次に、医療制度についてであります。75歳以上の後期高齢者の患者1割負担を2割負担にする方向で検討していることについても容認できません。

今後、全国の仲間と一緒に国に働きかけて参ります。『達者で長生き』は、私たちの切なる願いです。最近よく高齢者には、『きょういく』と『きょうよう』が大事だと言われます。『きょういく』とは、今日行く所があること、『きょうよう』とは、今日用事があることだそうです。健康を維持するためには、趣味やボランティア等、外へ出る機会を多く作る必要があるのではないのでしょうか。

退職者会でも、各種の催しを計画しています。昨年は初めて、支部対抗のパークゴルフ大会を実施しましたが、誰にでも気軽にできると大変好評でした。こうした催しにも多くの方々が参加していただければと思っています。

さらに、私たち退職者が、現役時代に培った様々な知識や技能、経験等を活かして、県行政に協力していくことも生き甲斐づくりの1つになります。昨年、県の要請を受け数名の方々が、『住家被害認定士』に登録されました。今後のご活躍を期待申し上げます。結びに、會員並びにご家族の皆様方にとりまして、幸多い1年となりますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

和歌山県知事

仁 坂 吉 伸



新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人和歌山県職員退職者会の皆様には清々しい気持ちで新春をお迎えのことと心から

らお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、郷土に誇りと自信を持った素晴らしい一年となりました。NHK大河ドラマ「真田丸」の放映、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の追加登録や崇高な捕鯨文化にまつわるストーリー「鯨とともに生きる」の日本遺産認定、赤ちゃんパンダの誕生、そして、紀の国わかやま国体で大いに活躍した本県代表選手のリオデジャネイロオリンピックでのメダル獲得など、県民に大きな感動と喜びを与えてくれました。こうした話題豊富な本県に、国内外から多くの観光客が訪れ、その数も年々増加しています。

こうした流れをとどめることなく、更にステップアップし、元気な和歌山を実現させるためには、人口減少、加速する経済・社会のグローバル化、情報通信技術の進歩などの変化に適切かつ迅速に対応していかなければなりません。そして、時代に乗り遅れることなく、チャンスを実に掴む必要があります。

県では今、多くの方々の意見をお伺いしながら、平成29年度から10年後の未来を展望し、取り組む施策の基本的な方向を明らかにする、新しい「和歌山県長期総合計画」の策定作業を進めています。また、今年の新政策は、その計画の初年度をなすものであります。しっかりと10年後の夢と希望を抱ける和歌山県が目に見えようように、そのはじまりの年として、明るい展望を持って力強い一歩を踏み出します。

和歌山県には、先人が地理的な不利を克服し、数多くの難局に直面しても、それを見事に乗り越えてきた歴史があります。

折しも知事に就任して10年が経過しました。これまで県民の皆さんのご意見をよく聞くことを心がけ、矢継ぎ早にあらゆる施策を講じてまいりました。和歌山の本当の良さや底力は「人」にあります。未来への投資がゆるぎないものとなるよう、明日が今日よりいい日になるよう、引き続き気合いを入れて頑張っています。皆が「力」を一つにして、さらに前へ進みましょう！

結びに、一般社団法人和歌山県職員退職者会の一層の御発展と、会員の皆さんにとって幸多き一年となりますことを祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

和歌山県職員労働組合

執行委員長 岡 本 啓 亨



新年、明けましておめでとうございます。

退職者会の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び

申し上げます。

また、平素は県職労の運動に対し、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年も様々な出来事がありました。熊本地震をはじめとする自然災害や、バングラデシュの首都ダッカでは日本人がテロに巻き込まれるなど、非常に痛ましい事件が発生しました。

しかし、このような悲しいことばかりではなく、8月に開催されたリオデジャネイロオリンピックでは、日本選手団の大活躍により、史上最多となる41個のメダルを獲得し、また、日本人が3年連続となるノーベル賞を受賞するなど、国内外を大いに沸かせました。

更には、アメリカ大統領選挙において、大方の予想に反し、ドナルド・トランプ氏が第45代大統領に選ばれるという驚きもありました。

私たち労働組合としましても、確定闘争において、3年連続となる月例給及び一時金の引き上げや、今、盛んに叫ばれている育児・介護しながら働き続けることができる制度の前進を勝ち取るなど、一定の成果を上げることができました。

今後とも、引き続き組合員にとって働きがいのある職場、将来にわたって安心して働き続けることのできる職場づくりに向け、積極的に取り組んでまいります。

そのためにも、退職者会の皆様とは「現・退一致の運動」として、とりわけ年金制度の改正等、目まぐるしく変わる社会保障制度の充実に向け、本年もより一層の御指導、御鞭撻をお願い申し上げます。

結びに、今年1年が素晴らしい年になることを願うとともに、和歌山県職員退職者会の益々の御発展と、会員の皆様方の御健勝、御多幸を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

本年も、何かとお世話になりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成29年 退職者会の1年

<通常総会>

- 第38回通常総会

5月下旬に開催

詳しくは29年4月発行の会報で案内します
多くの会員さんの参加をお願いします。



今年度(28年5月24日)の懇親会

<理事会>

- 第95回理事会 3月中旬
- 第96回理事会 6月中旬

<会報の発刊>

- 第163号 1月 1日
- 第164号 4月 1日
通常総会の案内等
- 第165号 7月10日
本部・支部総会の報告と会員の近況
- 第166号 10月 1日
毎号に会員の方々の「会員さんの声」の欄を設けています。みなさんの投稿をお願いします。

<会員名簿の発行>

○平成26年9月1日付けで会員名簿を発行して、その後27年、28年は主に新しい会員さんを紹介する追録を発行しました。

29年は、3年に一度の新しい会員名簿を発行する年ですので、10月の会報と共に会員の皆さまにお届けします。

なお、住所や電話番号など記載事項に変更が有る場合には、事務局の方へ連絡をお願いします。

事務局 ☎073-428-2090

<確定申告の説明会>

○和歌山税務署にお願いして確定申告の説明会を開催します

開催日時 平成29年1月30日(月)

午後1時30分から

場 所 和歌山市西汀丁61
「書道資料館」

<旅行等レクリエーション事業>

- 囲碁将棋大会

和歌山退職者連合の主催で、下記の日程で囲碁将棋大会が開催されます。民間企業の退職者の方々が多く参加されています。

昨年は、囲碁の部で36名の参加があり、本会からは、10名が参加しています。将棋の部では、20名の参加者のうち本会から2名が参加しました。

今年の日時と開催場所

開催日 2017年3月14日(火)

開催場所 和歌山勤労福祉会館(プラザホープ)

- ハイキング

退職者会連合近畿ブロックが主催するハイキングが毎年近畿各府県で開催されています。

今年も10月中旬に大阪の「万博記念公園」での開催が予定されています。

毎年、バス2台で約80名が参加しています。

また、別に伊都支部、西牟婁支部が独自でバスをチャーターして参加しています。

詳細につきましては、会報7月号でご案内をします。皆さまの参加をお願いします。

- グランドゴルフ大会

和歌山退職者連合の主催で、グランドゴルフ大会が、今年も10月上旬～11月中旬の間で開催されます。開催の場所は和歌山市ですが多くの皆さまの参加をお願いします。

詳細につきましては、会報7月号でお知らせします。

<各支部の事業>

本会各支部に於いてもいろいろな事業を計画します。多くの会員さんの参加をお願いします。

当会のメールアドレスが
下記に変更となりました！

w-taisyoku@iaa.itkeeper.ne.jp

メールでのご投稿もお待ちしております。
お気軽にお送り下さい！

60名が参加が参加して楽しくプレー

チーム戦 優勝 那賀支部

個人戦は、南 貫児（那賀支部）さん

－ 第1回パークゴルフ大会 －

10月6日（木）、紀美野町西野「のかみ ふれあい公園」で、県下各支部から60名の会員が参加して、第1回パークゴルフ大会を開催しました。

前日に台風が日本海を通過して、開催が危ぶまれましたが、当日は、台風一過の絶好の日和となり、パークゴルフを楽しみました。

大会には、本会会員の寺本光嘉町長が開会式に参加していただき、紀美野町の特産品を賞品に頂きました。



個人では、南 貫児（那賀支部）さんが優勝。チーム対抗戦では、1チーム3～4人で上位3人の成績で順位を決定し、那賀支部の岡山博治、辻井昭男、秦野俊明、南貫児さんのチームが175（上位3人の合計）のスコアで優勝しました。

また、石倉満子（那賀支部）さんが、見事ホールインワンを果たしました。

* 成 績

チーム戦

優 勝 那賀支部

（岡山博治、辻井昭男、秦野俊明、南 貫児）

準優勝 伊都支部

（土井清美、石井健嗣、清水久司、大和久健二）

三 位 日高支部

（中田邦城、吉田隆一、谷本隆史、鶴谷勇次）

* 個人戦

優 勝 南 貫児（那賀支部） スコアー55

準優勝 岡山博治（那賀支部） // 57

三 位 清水久司（伊都支部） // 59



優勝した那賀支部チームの方々



個人の部で優勝した南貫児さん（那賀支部）



参加者 125 人 80 歳以上 25 名 近江八幡(滋賀県)へ ハイキング

10月26日（水）

毎年秋に行われています退職者会連合近畿のハイキングが、10月26日に開催されました。今年は滋賀県近江八幡市で開催、近畿各府県から1500名が参加。和歌山県からは170名参加し、本会からは、125名（うち80歳以上25名）が参加しました。

開会式には、主催者の挨拶の後、各府県の最高齢者が紹介され、和歌山県では、浅原孟さん（86歳）が壇上に上がりました。

開会式の終了後、和歌山県の参加者を先頭にして、近江八幡の街並みをウォーキング。所々で誘導員の方やガイドの方に道案内や街並みの説明を聞きながら約2時間余り楽しく散策しました。

元気に浅原孟さん



近江八幡の街並み

支部だより

那 賀 支 部

【那賀支部第9回パークゴルフ大会】

日時：平成28年11月11日（金）午前9時
場所：紀美野町のかみふれあい公園パークゴルフ場
参加者：26名

那賀支部パークゴルフ大会は、今年で9回目となり、支部恒例の行事として定着しています。

大会は松田長次郎支部長の挨拶のあと、南貫児さんからルール説明があり9時から東西のコースに分かれてスタートしました。

コースは東、西コースでロングホールは無くショート（パー3）とミドルコース（パー4）からなるパー66で、各ホールともラフに囲まれた狭いフェアウェイと、アップダウンが大きく、途中で木やOBの生垣、バンカーもあるなかなかの難コースです。

その中で、西の1番（ミドル）で横辻守生さんがアルパトロス、西の4番（ショート）では松田長次郎さんがホールインワンを達成されました。

マイスティック、マイボールをお持ちのベテランの人あり、あまり経験のない初心者の人ありでしたが、各組とも、それぞれ和気あいの雰囲気です約1時間半ほどで18ホールを終えました。

入賞者は次のとおりです。

1位 岡山博治さん、2位 秦野俊明さん、3位 南貫児さん



有 田 支 部

【日帰りバス旅行】

9月15日、NHKで放送されている「真田丸」の真田親子のゆかりの地である九度山町と高野山へ日帰りバス旅行を実施しました。

参加会員は32名でした。

午前8時50分に湯浅町を出発し、バスは阪和高速道路で和歌山インターへ、和歌山市から岩出市まで国道を走り、岩出市から京奈和自動車道で高野口ICへ、そこから「道の駅柿の郷くどやま」まで行きました。

京奈和自動車道が建設され、有田地方から伊都、橋本方面へ行くのがとても早くて便利になりました。

道の駅では、2人の語り部に迎えていただきました。

語り部の案内で、まずは28年3月に開館した「真田ミュージアム」へ、真田ミュージアムをバックに参加者全員の記念写真を撮りました。

そして、館内に入るとまず、真田親子が入場者を迎えてくれます。

館内には、いろいろなものが展示されており、一周すると真田家のすべてがわかるようになっています。



真田ミュージアムの次は、真田親子が生活していたという「真田庵」へ、そして、そこから少し歩くと「真田の抜け穴」があります。

真田幸村が大阪城へ馳せ参じるときに、この抜け穴を通過して行ったと言われています。

語り部から、昔、高野山は女人禁制であったため、弘法大師のお母さんは高野山へ行けないために、九度山町の慈尊院に滞在し、それで弘法大師が一ヶ月に9回、慈尊院まで母親の元を訪れたそうです。

それで九度山というようになったと九度山の地名の由来も教えていただきました。

高野山へ移動し、昼食場所である「宿坊・福智院」へ、この立派な庭園を眺めながら精進料理をいただきました。

昼食後は、バスで中の橋まで移動し、そこから奥の院へ参拝しました。

参道の両側には、お墓が所狭しと並んでいますが、企業の墓や歴史上の有名な人の墓もあります。

参加者全員元気によく歩き、楽しい日帰りバス旅行となりました。

西 牟 婁 支 部

【ゴルフコンペ開催】

今年2回目のゴルフコンペを10月31日（月）にラビーム白浜ゴルフクラブで開催しました。参加者は31名です。

当日は曇りのち晴れで風もあまりなく絶好の日和で、皆さん和気あいに楽しくプレーをされた。

入賞者の方々は下記のとおりです。（ペリア方式です）

	氏 名	グロス	ネット
・優勝	山本康之	95	73.4
・2位	裕地正好	93	73.8
・3位	木村達雄	86	74.0
・4位	日用 宏	98	74.0
・5位	南木宏之	98	74.0
・ベストスコア	山本康夫	83	

【ハイキング大会参加＝支部独自でバスをチャーター】

「退職者連合・秋のハイキング」に西牟婁支部として独自に貸し切りバスを出して、参加をしました。参加者は例年より少なく21名です。

当日、西牟婁総合庁舎を早朝6時の出発にもかかわらず皆さん早めの集合です。途中休憩をはさみ約4時間10分をかけて会場に到着しました。

近江八幡市の近江堀周辺の散策を満喫し、帰路につき午後6時前に西牟婁総合庁舎に着きました。来年も是非参加を!!

【釣り大会開催】

10月29日（土）当日は風がやや強く絶好の釣り日和とはいきませんが、白浜町市江に集合して数年来恒例となりました「釣り大会」を開催しました。参加者は10名です。

釣果は以下のとおりです。

・イガミ	1位	三本 潔	39.0cm
・グ レ	1位	村上 明彦	37.0cm
・他 魚	1位	坂本正二平	22.0cm

有 田 支 部

あらぎ島と地域活動の紹介

有田支部 坂 本 頼 宣

高齢者中心ですが活性化を目指した活動をしていますので、その一端を紹介します。有田町のシンボルである蘭島（あらぎ島）は、江戸時代の初期、山保田の初代大庄屋・笠松左太夫によって、水田化されたもので、県内では唯一日本の棚田百選（平成 11 年）に選ばれ、また、私の住んでいます三田地域を含め「蘭島及び三田・清水の農村景観」が平成 25 年 10 月に和歌山県で最初に国（文部科学省）の重要文化的

景観の選定を受けています。



あらぎ島イルミテラス

あらぎ島では田植え体験、稲刈り体験、9 月 6 日には秋篠宮悠仁親王様のお誕生をお祝いするイベントとして、約 1,700 本の竹灯笼にローソクの火が灯り「キャンドルライトイルミネーション in あらぎ島」、また、12 月からは「あらぎ島イルミテラス」が開催されるとともに、四季々々の棚田の景観を求めて、多くの皆さんが観光バス、マイカーで全国から訪れ賑わっています。

平成 25 年 11 月には全国棚田サミット（830 名参加）が開催され、三田地域がサミットの現地見学会場となり、伝承料理である芭蕉の葉で巻いた押し寿司 1,000 個を作り、おもてなしをするとともに、見学コース内の案内等をして、全国から来られた皆さんと交流が深まりました。



あらぎ島田植え期

あらぎ島を幻想的に浮かび上がらせる「あらぎ島イルミテラス」が開催されました。それに伴い、寒い時期ですので古民家を自分達で改装して、毎週土曜日に当番制で三田の天然水を使用した

平成 26 年 12 月から平成 27 年 2 月 1 日の間、LEDソーラーライト 3000 個が日没後に点灯し、

コーヒー、紅茶をふるまい、見学に訪れる皆さんに休憩して頂く「おもてなし処」を開設しました。

「おもてなし処」では期間中 550 人の利用があり、中でも田舎の話題について話がはずみ、楽しいひとときが過ぎたと喜んで頂くとともに、感謝の言葉を多く頂き、高齢者中心のおもてなしでありましたが、私達も元気を頂き若くなったような気持ちで、楽しくおもてなしをしました。

三田地域には神社が 2ヶ所あり、蔵王神社（4 月）、金比羅神社（11 月）の例祭では、大餅投げを行い、遠くは泉南方面、湯浅町等から参拝があり、カメラで餅投げの様子を撮影される方など、大勢の皆様のお参りで賑わっています。

蔵王神社は「失せものがみつかる」として、江戸末期



あらぎ島収穫期

から地元は勿論、泉南、紀北・紀中方面から多くの参拝者があります。失せものがみつければお礼参りに来てくれています。

あらぎ島は 5 月上旬から田に水が入り、田植えが始まり、稲も生長し、グリーン色の稲は風になびき、9 月には稲穂が実り、水田一面が黄金に輝き、

収穫の時期となり、積雪もあり、一年を通じて見学できますので、全国から多くの皆さんが訪



蔵王神社の餅なげ（4 月）

れ、過疎の町も見学に訪れる皆様に元気を頂き活気が出ています。

四季折々あらぎ島の美しい風景が楽しめます。その折には蔵王神社にも参拝して下さい。

また、今年 2 月 5 日（日）にあらぎ島で夜に花火大会が開催されます。

退職者会の皆さん是非お越しください。お待ちしております。

訪ねてみよう

海草支部 横手英徳



(亀池公園 海南市阪井)

さくらの名所「亀池」をご存じですか。

私も、「さくらまつり」が開催される4月上旬には毎年花見に出かけます。池の周りには約2000本の桜が植えられ、静けさと湖面に映し出される桜が大好きです。また池の周りには土見のまま約4kmの遊歩道があり、散策しながら自然を楽しむことができます。

亀池は江戸時代(1710)紀州藩に仕える井沢弥惣兵衛(溝ノ口村)によって灌漑用池として造られた県下最大級の池です。

満水面積約13万m²、貯水量約54万m³、堤の長さ98m、高さ16m、周囲約4kmもあるこの池を、

延べ55,000人で、約3ヶ月の短間に完成させたそうです。

池の中島には、紀州徳川家の別邸・双青閣(旧紀州藩主の徳川頼倫公が大正6年に徳川300年を記念して和歌山市の和歌浦東照宮の下に建てられた。)が昭和43年に移築され多目的広場も整備されていますが、現在はそのつり橋が老朽化のため亘ることは出来ないのが残念です。

退職者会のみなさま、是非、桜の時期には亀池にお越し下さい。

アクセス等

【電車の場合】

JRきのくに線海南駅から大十オレンジバス登山口行きで15分、亀池公園下車、徒歩5分

【車の場合】

阪和自動車道海南東ICから国道370号を紀美野町方面へ車で3km

住 所 和歌山県海南市阪井452

お問合せ 海南市観光協会

073-483-8460

駐 車 場 あり(無料)30台

※さくらまつり開催日のみ
200台無料



社会保障の充実と 公正な税制をめざして

全日本自治体退職者会の 第45回定期総会 ―報告―

全日本自治体退職者会(全自退)は、11月10日(木)愛知県豊橋市で第45回定期総会を開催しました。

総会の冒頭吉沢会長は、全自退28万8千人の力で、年金、医療、介護など社会保障の充実をめざそうと挨拶。



総会には、代議員214名が参加、2017年運動方針を原案どおり満場一致で可決承認しました。

承認された社会保障の充実と公正な税制をめざす、取り組みの方針は、以下のとおりです。

〈社会保障の充実をめざします〉

- (1) 社会連帯に基づく、権利としての社会保障・社会福祉の基礎である、憲法第25条の生存権理念を具体的に実現します。これに逆行する「骨太方針」による社会保障切り捨てに反対します。
- (2) 現在と将来の年金受給者が共に生活できる、安定した年金制度を求めます。納得できない一方的な年金制度変更、年金課税強化には反対します。年金積立金を株式市場の官制相場作りに利用することに反対します。
- (3) 医療と介護の切れ目ない連携による「地域包括ケアシステム(ネットワーク)」の確立を求めます。医療・介護サービス提供体制の整備とそれを担う従事者の人材確保・処遇改善を求めます。
- (4) 公的国民皆保険制度を堅持して、国民全てが必要なとき十分な医療を受けられることを確保するための医療制度をめざします。金のある者だけが診療を受けられる医療の市場化とその先駆けである混合診療のなし崩し拡大に反対します。
後期高齢者医療制度については困難ではあっても、高齢者医療制度改革会議の最終取りまとめに基づく法改正を求め続けます。70歳以上の高額療養費上

限引き上げ、75歳以上の医療費定率負担2割化等に反対します。

- (5) 人間の尊厳を守り、社会的介護を実現する介護保険制度を充実発展させます。「要支援1・2に対する介護給付削除」の強行に反対し、新たに提起された「要介護1・2に対する介護給付削除」「生活援助サービス・福祉用具貸与等の自己負担化」、および「自己負担割合2割化」に反対します。
- (6) 生活保護基準の復元・改善、生活困窮者自立支援法の市民本位の確実な実施を求めます。
- (7) 社会保障給付の前提となる財源を確保するとともに、その基盤となる人口政策・雇用政策・経済政策を求めます。これに逆行する手当なし残業のための労基法改悪、金銭雇用のための労働契約法改悪に反対します。
- (8) 公的医療皆保険・自主共済・郵貯簡保等を危機にさらすとともに農林水産業に壊滅的打撃を与えるTPP加入に反対します。

〇年金制度

公的年金保険は6,700万人の被保険者3,900万人の受給者の権利に直結する超長期の制度であることから、全社会が協力して維持すべきものです。年金は社会化された扶養であって金融商品ではありません。また、防貧を目的とする社会保険であって救貧を目的とする扶助ではありません。年金財政の安定は「保険料を負担する労働者数とその賃金水準」と「年金受給者数と給付水準」に規定されるため、経済政策・雇用政策こそが基本であり、年金制度自体で解決できることは限られています。

年金制度については2012年の一連の年金関連法改定で一区切りとなり、その後の制度改革については継続検討事項とされた課題を含めて、2014年の財政検証結果に基づいて検討されてきました。財政検証で強い問題意識をもって試算された三課題「短時間労働者の社会保険加入拡大」「マクロ経済スライドの名目下限方式の見直し」「保険料拠出期間延長、年金受給年齢選択促進」については、事業主の反発、受給者の反発、財政当局の抵抗などにより、第190国会には「短時間労働者について労使合意があれば500人以下企業でも年金加入を可とする(地公については労使合意抜きで500人要件除外)」「マクロ経済スライドを繰り越し累積方式に改める」のみが提出されました。自治退は、短時間加入拡大については極めて限定的な今次法案を批判し、前倒しで抜本的に拡大すべきこと、保険料拠出期間延長・受給年齢選択については推進を主張してきました。また、マクロ経済スライドについて「繰り越し累積方式」は名目下限方式の範囲内として認識し、あわせて将来受給世代の所得代替率確保を念頭に置いた制度のあり方について議論を深める必要があるという立場で対応してきました。

被用者年金一元化に関連して2013年8月に強行

された「追加費用削減」は制度論として誤っています。とりわけ、沖縄について全国水準より長い追加費用期間による削減とされており、沖縄の年金受給者に対する不当な不利益扱いとなっています。復帰法の理念に反する政令は是正されるべきであることを主張し続けます。

○医療制度

2008年4月に発足した後期高齢者医療制度は、私たちの廃止要求にもかかわらず、「社会保障制度改革国民会議」では、「制度発足後時間が経過し制度は安定的に受け入れられている」として存続方向とされました。引き続き粘り強い取り組みが必要です。

今後、次のような骨太・財政審の提起に基づく切り捨て抑制が浮上すると思われます。

「70歳超高額療養費上限を現役並みに見直し：16年度末までに結論をだし、速やかに実施」「75歳超医療費定率負担の原則2割化（2019年度以降に75歳になる者は74歳までの2割を維持、既に75歳を超えている者は段階的に2割へ）：できるだけ早く具体化」

いずれも、若い時に比べて医療費が急増して、負担が困難になる高齢者の実態を無視しており反対します。

○介護保険制度

介護については2014年6月の総合確保法で介護保険法が改定され、順次施行段階に入っています。また、2015年4月には介護報酬が改定されました。

これに続き、次のような骨太・財政審の提起に基づく切り捨て抑制や管理強化について参院選後浮上に向けて審議会等での検討が開始されています。

「軽度者（要介護1・2）への生活援助サービス・福祉用具貸与等の原則自己負担化、それ以外の総合事業化：16年末までに結論を出し、17年通常国会に法案提出」「介護保険65～74歳は原則2割負担へ、75～についても2割負担を検討：16年末までに結論を出し、17年通常国会に法案提出」「高額介護サービス費は高額療養費と同水準まで利用者負担限度引き上げ16年末までに結論を出し、速やかに実施」

これらはいずれも、利用者のサービス利用を困難にし、制度の根幹をゆがめるもので許せません。審議会動向を注視し関係団体と連携して取り組む必要があります。

政権は選挙キャンペーンとして「一億総活躍社会」を掲げ、その一環として「介護離職ゼロ」を掲げ「50万人分」の施設整備を打ち出しました。介護離職ゼロ自体は実現すべき目標ですが、構想は財源の裏付け・計画内容があいまいなアドバルーンに過ぎず、参院選後には消滅すると思われます。真に介護離職ゼロを実現するためには施設・在宅を通じて介護に従事する人材確保が大前提になります、「介護職員離職ゼロ」を

こそ最優先で取り組むべきです。

骨太・財政審はこのほか、医療介護共通して「診療報酬・介護報酬のマイナス改定」「医療・介護共通してマイナンバーを活用して所得のみでなく金融資産保有状況を考慮した負担へ：預金口座への付番開始後3年を目途に具体化」を提起しており、いずれも認められません。

退職者連合は「地域・在宅で安心して暮らし続ける」ことを基本に、13年以降自治体に対する要請行動と、厚生労働省交渉や政党要請行動に取り組んでいます。

〈公正な税制をめざします〉

- (1) 応能負担による所得の再分配機能を果たす所得税制をめざします。
- (2) 所得控除から税額控除に改革し、給付つき税額控除を検討するよう求めます。これと一体で年金課税の在り方の検討を求めます。配偶者控除見直しを検討する場合は、年金生活世帯の増税・社会保険料負担増をもたらさない方策を講ずるよう求めます。
- (3) 社会保障を充実させるため、企業の社会的責任と応能負担による市民負担を適切に組み合わせて必要な財源を確保する税制とするよう求めます。財政再建に逆行し、消費税による増収を相殺する法人税減税に反対します。
- (4) 消費税については、制度上の課題を解決すると共に、社会保障給付改善の全体像と税制の全体像を示して市民の合意を図ることを求めます。軽減税率導入に反対します。
- (5) 復興特別税について、納税者に対して、「国の特別会計の総事業費と年次計画と執行状況」「法人税の3年目分を不要とした根拠」等実績と使途を示すことを求めます。
- (6) 「納税者権利憲章」の速やかな決定・周知を求めます。

〈住み続けられるまちづくりのため、交通政策を推進します〉

- (1) 交通政策基本法の趣旨を踏まえ、高齢者や障害者など交通弱者の生活に必要な移動手段確保のため、地域公共交通の充実を求めます。
- (2) 地域の活性化や住み続けられるまちづくりのため、自治体の総合計画や都市計画に、住民ニーズを反映した交通政策との連携を求めます。私たちの提起を受け止めて退職者連合が展開する政府・自治体に対する要求運動について、自治退として積極的役割を果たします。
- (3) 交通政策基本計画の実効性確保のための取り組みを進めます。とくに交通専任者の基礎自治体への配置や地域公共交通会議（法定協議会）などの設置を求めます。

「患者のための薬局ビジョン」

今回「くすり」について、県庁福祉保健部健康局の薬務課にお願いしまして、和歌山県の取り組みを紹介しました。

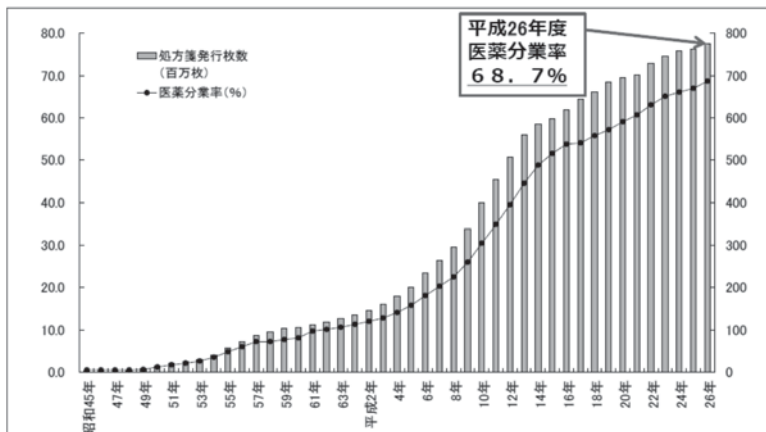
執筆して頂いた方は

和歌山県福祉保健部健康局 薬務課 薬事血液班長 中西和也様です。

～「門前」から「かかりつけ」、そして「地域」へ～

医薬分業の進展等により、薬剤師や薬局を取り巻く環境は大きく変化してきています。

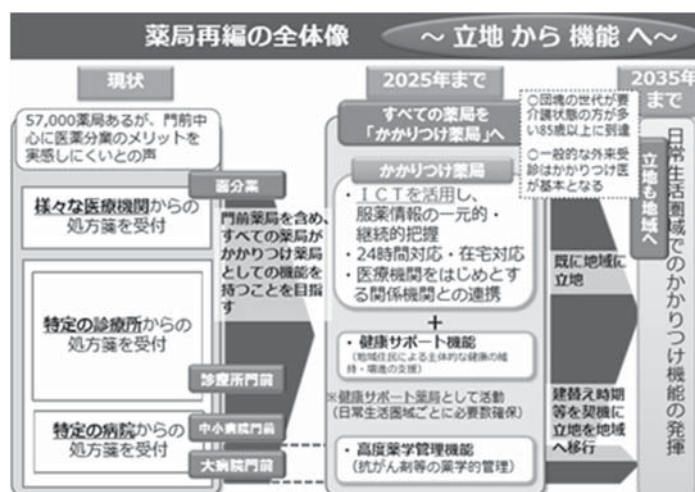
和歌山県の医薬分業率は全国 46 位と引き続き低位ながら、平成 27 年 10 月には 50% を超えてきており、平成 28 年 3 月では 51.6%〔速報値 薬務課調べ〕となっています。



医薬分業率は年々上昇

このような中、厚生労働省において、医薬分業の原点に立ち返り、薬局を患者さん本位の「かかりつけ薬局」に再編するため、昨年 10 月「患者のための薬局ビジョン」が策定されました。

急速な高齢化が進む中で、団塊の世代が後期高齢者（75 歳以上）になる 2025 年を目途に、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができることを目的として、地域包括ケアシステムの構築が推進されています。薬局においてもその一翼を担うことが重要とされ、すべての薬局が「かかりつけ薬局」としての機能を持つことを目指していくことが求められています。



本ビジョンでは、中長期的な視野に立って、「患者さん本位の医薬分業」の実現に向けて、

①服薬情報の一元的・継続的把握とそれに基づく薬学的管理・指導、②24 時間対応・在宅対応、③医療機関等との連携など、かかりつけ薬剤師・薬局の今後のあるべき姿が明らかにされるとともに、「かかりつけ薬局」への再編の道筋が示されています。

「かかりつけ薬局」の基本的な機能は？

薬に関して、いつでも気軽に相談ができる「かかりつけ薬剤師」がいます。

①服薬情報の一元的・継続的把握

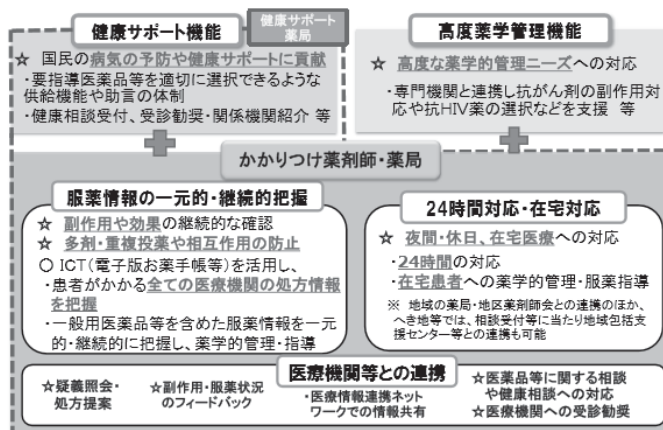
患者さんがかかっている全ての医療機関や服用中の薬を薬局が一元的・継続的に把握したうえで、薬を安全で安心して使用するため、適切な対処法を提案します。

②24時間対応・在宅対応

開局時間外でも、薬の副作用や飲み間違い、服用時間など随時電話相談が可能です。地域包括ケアの一環で、残薬管理など在宅対応にも積極的に関わります。

③医療機関等との連携

医師の処方箋内容をチェックし、必要に応じ処方医に疑義紹介や処方提案を実施します。医薬品等の相談や健康相談に対応し、医療機関や関係機関と連携を図ります。



さらに、かかりつけ薬剤師・薬局としての機能を備えた上で、住民による主体的な健康保持増進を積極的に支援する（すなわち、健康サポート機能を有する）「健康サポート薬局」の基準が公表されています。

平成27年9月に取りまとめられた「健康サポート薬局のあり方について」（「健康情報拠点薬局（仮称）のあり方に関する検討会」報告書）の中で、『地域住民の健康意識を高め、健康寿命の延伸に貢献していくため、健康サポート薬局は「安心して立ち寄りやすい身近な存在として、地域包括ケアシステムの中で、多職種と連携して、地域住民の相談役の一つとしての役割を果たすこと」が求められています。』と書かれています。

平成28年10月から、この基準に適合し、保健所へ届出を行った薬局は、「健康サポート薬局」として表示することが可能となりました。また、併せて薬局機能情報の変更報告書等の提出を行うことにより、*「和歌山県薬局機能情報提供システム」により、その旨が公表されることとなっています。

- 住所、薬局名称、医療保険等の取扱い状況から県内の薬局を検索できます。
- 掲載されている主な内容：
- 1 基本情報 薬局の名称、管理者、開店時間など
 - 2 薬局へのアクセス
 - 3 薬局内サービス
 - 4 費用負担
 - 5 実績、結果等に関する事項

*和歌山県では、県内の薬局の機能情報をインターネットで公表し、県民の皆様が自分にあった適切な薬局を選べるよう支援を行っています。 <https://www.wpa.or.jp/pharmacy/>

◆県民から真に評価される医薬分業の速やかな実現を目指して

薬局が「かかりつけ薬局」の機能を発揮し、地域包括ケアの一翼を担えるようになるためには、単独で機能の充実・強化を図るだけでなく、複数の薬局が地域の特性に応じた適切な連携体制を構築していくことも重要です。

和歌山県としましても、「患者のための薬局ビジョン」等を踏まえ、（一社）和歌山県薬剤師会と連携し、「かかりつけ薬局」、「健康サポート薬局」の推進を図って参ります。

会員さんの声

忘れ得ぬ人 忘れ得ぬ言葉 〈6〉

和歌山支部 高 田 朋 男

「そらそうと、高田ちゃん、お前、県庁に何しに来てるんや？」

と県の〇先輩から尋ねられた。私は、内心「変な事を聞いてくるなあ」と思ったが、仕事以外に思い当たるものがないので、

「それは、仕事しかないでしょ」とありきたり返事をしてしまった。すると、〇先輩は「給料もらっているんやから、仕事するのは当たり前や。それ以外にだよ！」

とにべもなく応じられた。私は、一瞬、びっくりした。〈えええ……〉〈仕事以外に県庁に用事ないし？〉〈それ以外に何があるの？〉

この時、〇先輩は、〈やっぱり分からないか〉と言わんばかりに、私の顔をじっと眺めた。

そして次に放った言葉が、私の胸に鋭く突き刺さった。それ以来、定年退職するまで、ずっと頭の片隅に生き続けた言葉だったのである。

今、このエッセイを読んでいる方で、同じように質問されたら、どのようにと答えるのだろうか？この答えを明かす前に、今暫く、〇先輩との馴れ初めを紹介したい。

実は、〇先輩とは、主事時代からの知り合いだった。私が企画室で、〇先輩が、企画部某課の班長だったことから、仕事のやり取りで知り合いとなった。第一印象は、親分肌の人情味のある人、そう思った。

その後、二十年ほど接触する機会もなく、時間が過ぎていった。そして私が土木部某課の班長をしていた時、奇しくも〇先輩が、定年間近ということもあって、土木部の出先機関の長となっていたのである。

この時、知事には改革派と呼ばれた K 氏が就任しており、土木部長には建設省から〇氏が派遣されていた。後年、〇氏は中部地方の首長となった人物である。いわば国から来たトップの影響からか、県庁土木部は、改革の嵐が吹き荒れていた。このような情勢の中、私の所管する事務の中に〈いわゆる困った案件〉があった。それは、〇先輩の出先機関の事業だったのである。

本来、指名競争入札すべき案件にもかかわらず、長年の慣行により随意契約がまかり通っていた。これをなんとかしないと、知事はじめ部長から、大変なおしかりを受けることになるのは明白だった。しかし問題なのは、その事業には大会社が絡んでおり、すんなりと指名競争入札に持ち込めるかどうか、見通しが立たない状態だったのである。

そこで私は、担当者とともに〇先輩を訪ねた。〇先輩にこのことを素直に相談したところ、「俺が行くから、任せとけ」と一言だった。そして両者で大手の会社を訪問し、責任者との話し合いを行った。〇先輩は、その場でずばっと、核心を衝く話をした。そしてすぐに決着した。私は、〈さすが〇先輩だ〉と思った。

それ以来、〇先輩に一層の親しみが感じるようになった。そんな折、偶然、渡り廊下でばったりと〇先輩と出くわした。「高田ちゃん、元気にしてるか」から始まって、四方山話をして、別れ際に尋ねられた。「そらそうと、高田ちゃん、お前、県庁に何しに来てるんや？」。そして冒頭のやり取りがあって、次のように言った。

「わしわ、友達づくりに来てるんや」。まさに名文句だった。37年の長きにわたる県庁生活で、もっとも大きな財産は友人である。そのことを教えてくれた一言だった。

< 会員の近況 >

和歌山支部

〇小林 哲也さん（和歌山市）
元気良く印刷室へ勤めています。



北別館への渡り廊下

次号（四月号）は平成二十九年四月を予定しておりますので、二月二十四日（金）までに投稿をお願いいたします。難解な漢字等には、ふりがなをお願いします。

当会のメールアドレスが下記に変更となりました！

w-taisyoku@iaa.itkeeper.ne.jp

メールでのご投稿もお待ちしております。お気軽にお送り下さい！

※十月号に掲載しました 東牟婁支部 汐崎 光さんの川柳に誤りがありました。謹んでお詫び申し上げます。
【誤】 楽しさは季節を選ばず山歩き
【正】 楽しさは季節選ばず山歩き

徘徊のコース探して街歩き
今日も又同じ話題の老い二人
なにか変子供血圧親ハシカ
和歌山（県外）支部 久保 直一
茶門には生き生き顔の揃い組
字引ひくルーペ頼り句を捻る
自家造りサンマ鮓食べ日々元気

和歌山支部 橋本 諭吉

高田朋男（和歌山支部）さんが本を出版



和歌山支部会員の高田朋男さんが、県内有力企業であるアクロナイン（株）の創業物語を平成28年11月1日に本として出版しました。本の内容は、アクロナイン（株）を一代で築き上げた勝本信一氏を主人公にした創業物語。普通サラリーマンから一転して、銀行からの要請でエンジン修理業を創業。その後、極秘ノウハウである摩擦材の配合技術を取得して製造業へと事業転換を図る一方、卓越した経営戦略と着実な経営手法で中国、タイへと海外進出していきました。また勝信梅の創業秘話や重度障害者多数雇用企業の創

設なども語られており、和歌山県を代表する企業経営者としてふさわしい物語となっています。

また11月4日には、和歌山商工会議所専務理事の野田寛芳氏、和歌山社会経済研究所副理事長の藤本拓司氏、アクロナイン（株）代表取締役社長の勝本真人氏が発起人となり、アバローム紀の国において出版記念祝賀会（出席者120名）が開かれました。祝賀会には仁坂和歌山県知事をはじめ、和歌山市長、和歌山商工会議所会頭、副会頭、そして本会からは社会長、尾崎前会長が出席し出版をお祝いしました。



会員証提示で店頭価格より5% OFF

= (株)インテリックスと覚書を締結 =

オーダーカーテン均一価格ショップ
ジャストカーテン
和歌山県岩出店
 〒640-6245
 岩出市中島697
 TEL/ 0736-63-3302 ■営業時間/ 10:00～19:00
 FAX/ 0736-63-3396 ■定休日/ 水曜日（祝日の場合は営業・翌木曜日休み）



均一価格カーテンから輸入カーテンまでお取扱い
ジャストカーテンプレミアム
和歌山県庁前店
 〒640-8269
 和歌山市小松原通1丁目1-11 大岩ビル1F
 TEL/ 073-421-3339 ■営業時間/ 11:00～19:00
 FAX/ 073-421-3338 ■定休日/ 水曜日（祝日の場合は営業・翌木曜日休み）



【直営店全国13店舗】 グランフロント大阪店・真面目店・エコー川和泉中央店・神戸HDC店・神戸垂水店・神戸北店・大名古屋ビルディング店・名古屋八事店・湘南台店・藤沢店・BIVI福岡店

* 土日(特に12～17時)は店舗が混雑しお待たせする場合がございます。

ジャストカーテン 検索

株式会社 インテリックス

このたび、(株)インテリックス（ジャストカーテン）と県職員互助会と三者で「覚書」を締結。

カーテンの購入時に本会の「会員証」を提示すれば店頭価格より5%の値引。



川柳

伊都支部 堀江和夫

辞書を引き誤字の無い遺書書いている
 声色で心の中を見透かされ
 古民家の表札にみるその歴史

海草支部 三宅保州（保）

これからを期待しているカレンダー
 生きているのが最高のお年玉
 賽銭の音で神様起こされる

和歌山支部 浅原 孟

季節毎呼び名もらって雨は降り
 夫婦舟激流もあり風もあり
 由緒ある老舗の跡にコンビニが

東牟婁支部 汐崎 光

安寧を願い今年も初詣で
 秋晴れや順番待ちの大蛇
 平成二十八年十月十五日大台ヶ原登山にて

高速度基本守れず死亡事故

東牟婁支部 木本 瑞子（殖巳）

平成の百寿六万目出度しか
 老来^{ろうらい}の交通事故は明日のわれ
 満ち足りし世に欠けるもの薄情^{うすなさけ}

税務署からのお知らせ

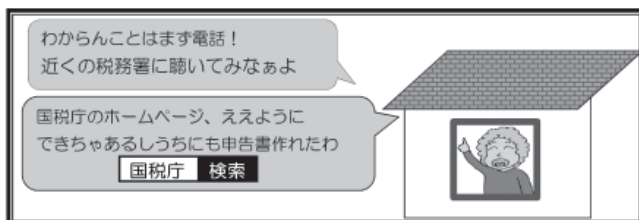
・税務署の確定申告会場は2月16日からスタート！ 相談受付は16時まで

※当日の混雑状況で、早めに終了する場合もあります。

平成 28 年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書の受付は、平成 29 年 2 月 16 日（木）から同年 3 月 15 日（水）です。

また、平成 28 年分の贈与税の申告書の受付は、平成 29 年 2 月 1 日（水）から 3 月 15 日（水）までとなっております。

・提出は郵送で！作成は国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」をご利用ください！



・来署される際は電車・バスで！

税務署の駐車場は狭く、期間中は大変混雑しており、駐車するまでに長時間お待ちいただくことがございます。来署される際は電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

・年金所得者の申告手続不要制度

公的年金等の収入金額の合計額が 400 万円以下で、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が 20 万円以下である場合には、所得税及び復興特別所得税の確定申告をする必要はありません。

(注) 1 この場合であっても、所得税及び復興特別所得税の還付を受けるためには、確定申告書を提出する必要があります。

2 公的年金等に係る雑所得以外の所得があり、その所得金額が 20 万円以下で所得税及び復興特別所得税の確定申告が必要ない場合であっても、住民税の申告が必要な場合があります。

申告手続などには マイナンバー の記載



本人確認書類 の提示又は写しの添付が必要です

確定申告・"e-TAX"説明会の開催について(退職者会主催)

和歌山県職員退職者会では、毎年、和歌山税務署のご協力を頂き "e-TAX" (国税電子申告・納税システム) 及び申告書記載要領等の説明会を開催しています。

本年も、下記により開催しますので是非ご出席ください。

なお、参加希望の方は、資料等の準備もございますので、予め事務局へご連絡ください。

①日時 平成 29 年 1 月 30 日（月）

午後 1 時 30 分から

②場所 和歌山県書道資料館 2F 会議室

和歌山市西汀丁 61

TEL 073 - 433 - 7272

③講師 和歌山税務署職員

俳句

和歌山支部 阪上 明男

朝霧の流れて今朝の王子かな

風吹けば刈田に蝶のあらわるる

美しき桜紅葉の落葉踏む

東牟婁支部 木本 瑞子(殖巳)

恙なき日頃と安堵賀状読む

高梯子届かぬ袖子を採りたしや

庭のもの枯れて汚れて冬に入る

海草支部 岩間 文鳥

年迎ふ亡母の手判や歎異抄

初詣宮のもてなす椀の汁

奥津城に着きて寒風はたと止む

和歌山支部 辻 博堂

濡れ縁の浮き釘目立ち冬に入る

山腹に産土神抱きて山眠る

大川の淀みに鴨の布陣あり

西牟婁支部 西川 清

帰省子に鴨居は低くなりけり

寒燈下遺影の妻に話しかけ

追伸の手書き先読む賀状かな

長寿のお祝い

次の方々が、めでたく80歳の傘寿をお迎えになりました。益々お元気でお過ごしなされますようお祈り申し上げます。(敬称省略)

※個人情報保護のため掲載できません

会員のご逝去

次の方々が、ご逝去されました。慎んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称省略)

※個人情報保護のため掲載できません



文

芸

欄

短歌

みなさんの広場
です。どしどし
ご応募ください。

那賀支部 赤井順子

朝日差す厨に立てり今日一日

神が呉れる二十四時間

水のおかげ花のおかげに生かされて

春は祈りの心膨らむ

春の日の一筋心に差し入りて

地平線上プリズムとなる

和歌山支部 田沼 小一郎

近頃はスコア気にせず進み征き

狙いはひとつニアピンのみに

彼の人もあれ程好きな我が友も

グリーンを去りて何を楽しむ

我がゴルフ初めてここに幾年ぞ

数値が増えて単価が安く

那賀支部 中谷博昭

城下町港町にて宿場町

繁栄の証吉田大橋(吉田宿)

二川宿本陣跡の壮大さ

馬場家の苦勞しみじみ想う

白須賀の潮見坂より眺めれば

心ひかれぬ遠州灘に(白須賀宿)

野 崎 廣さんが個展

(和歌山支部)

一生感動 一生青春
感動こそ、人間が人間として
生きているあかし

個展の開催期間

平成 29 年 1 月 11 日 (水) から
1 月 16 日 (月) まで

開催の場所

和歌山市湊通丁北 2 丁目 1 - 2
アバローム紀の国 2 階 「龍門」

はじめは趣味としてかき始めた絵画であったそうですが、四季折々の自然の風景や生物等を描いていく間にその魅力に感動したそうです。

特にスズメバチの生態系に興味を持ち、その美し模様の巣房に魅了し、これをモチーフにした作品で県展の知事賞を受賞しました。

この県展での受賞を機会に絵を描くことの楽しさ、面白さに感動し、本格的に画家を目指すことになり、現在、東京に本部のある「独立美術協会」に所属し準会員として日々具象画の創作活動に取り組んでいます。

絵を描き始めて 25 年、これを記念して、この度 3 回目の個展を開らくことになりました。

「一生感動 一生青春」の気持ちを胸に込めてこれか

らも絵画に取り組んでいくそうです。

会員の皆さま、個展の案内状を同封していますので、野崎廣さんを励ましに行ってあげてください。



Restoration (再興) への道は I 準会員 野崎 廣 130 号
2016 年独立美術協会展 出展作

「第21回囲碁・将棋大会」を開催 参加者を募集!

会員の相互交流、親睦を目的に和歌山退職者連合が主催する「第 21 回囲碁・将棋大会」が下記のとおり開催されます。

多数の参加をお待ちしています!

- 日時 平成 29 年 3 月 14 日 (火)
受付 9:30 開会 10:00
- 場所 和歌山県勤労福祉会館(プラザホープ)3階
- 競技方法
個人戦 A クラス (2 段以上)

B クラス (初段以下)

ブロック別にリーグ予選 (1 人三対局) を行いトーナメント戦で決勝戦を行う

- 募集人員 和歌山退職者連合で 各 40 名
- 申込締切日 平成 29 年 2 月 3 日 (金)
- 申込先 和歌山県職員退職者会事務局
電話・FAX 073-428-2090



事務局からのお知らせ

当会のメールアドレスが
下記に変更となりました!

w-taisyoku@iaa.itkeeper.ne.jp

メールでのご投稿もお待ちしております。
お気軽にお送り下さい!

編集デスクより

会報へのご投稿お待ちしております。身近な出来事や自身のボランティア活動等も含めお気軽にご投稿ください。

会報に関するご意見、ご感想等もお待ちしています。投稿文は、原稿用紙 2 枚程度、詩歌等は 3 句以内でお願いします。

写真等もお気軽にお送りください。

**★次号 (4月号) の原稿は、
2月24日 (金) までに
ご提出をお願いします。**

